

## 17. 対象

生活科では、「対象とのかかわり・・・」「直接対象とかかわる活動・・・」のように、『対象』という言葉がよく使われます。

これは、社会科における『社会的事象』、理科における『自然事象』と対応する言葉と考えることができます。

### 対象とは

『対象』とは、広辞苑によれば、

『対象』…認識や意志などの意識作用が向けられる当のもの。物的・心的・実在的・観念的なあらゆるもののが対象になりうる。

とある。

生活科の場合は、子供が興味・関心を抱き、かかわる「もの・人・こと」を指すと考えられる。

生活科の内容から取り上げてみよう。

①もの	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校の施設</li><li>・様々な場所</li><li>・公共物や公共施設</li><li>・身近な自然、身の回りの自然</li><li>・身近にある物</li><li>・動物や植物</li></ul>
②人	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校生活を支えている人々や友だち</li><li>・家族</li><li>・地域の人々</li></ul>
③こと	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分でできること</li><li>・人々と接すること</li><li>・季節や地域の行事</li><li>・四季の変化や季節</li><li>・自分の成長</li><li>・自分の役割</li></ul>

生活科における学習の対象は、「もの・人」にとどまらず、「こと」をも含むことが特質と言えよう。また、学習過程で、「もの・人」にかかわることから、「こと」が生まれていくことが多い。